

会場：アテネ・フランセ文化センター [御茶ノ水]
新日本作家主義烈伝
VOL.12

堀

上映作品

草叢 2005年

妄想少女オタク系 2007年

東京のバスガール 2008年

魔法少女を忘れない 2011年

「天竜区」シリーズ 2014年-2015年

天竜区奥領家大沢 別所製茶工場

天竜区旧水窪町 祇園の日、大沢釜下ノ滝

天竜区奥領家大沢 夏

天竜区奥領家大沢 冬

禎



2016年6月24日[金]、6月25日[土]

まず確認。堀禎一は天才なのだ。皆の思っていた映画が終わってしまった21世紀の今、どうすればこんな画面が撮れるのかとかこんな編集が可能なのかと彼に尋ねようと思ったとしても、あれこれ考える前に「だって堀禎一は天才だから」とアッサリ気づいたら、そう断言してしまえば悩み無用ののだ。だからヒトはただただ驚き続け、見惚れ続けなければならない。今回惜しくも上映されないデビュー作『弁当屋の人妻 もう一品、私はいかがですか?』や、傑作『隣 Ren』を思い出しながら、天竜区シリーズによる彼の新たな出発を前にして、映画のダークマターを目にしてしまったのかと錯覚したとしても、決して誤りではないのだ。

赤坂太輔 (映画批評家)

ピンク映画やアイドル映画で注目される堀禎一監督。最新ドキュメンタリーシリーズ「天竜区」の4本とともに堀禎一監督の過去作も一挙上映!

草叢 (不倫団地 かなしいイロやねん)

2005年 (64分) ※35mm上映

監督: 堀禎一

脚本: 尾上史高

出演: 速水今日子 吉岡睦雄 伊藤猛



堀禎一の監督2作目。大阪のとある団地に住む秋江。夫は浮気でほとんど家には戻ってこない。テレクラで知り合った進次と偶然団地で再会し、二人は燃え上がる。「シナリオ」誌ピンク映画シナリオ募集で準入选した脚本を映画化。速水今日子が不倫に溺れる秋江を好演。

妄想少女オタク系

2007年 (113分) ※デジタル上映

監督: 堀禎一

脚本: 多胡由章 尾上史高

出演: 甲斐麻美 中山麻聖 馬場徹 木口亜矢



紺條夏生による同名漫画の実写映画化。阿部はクラスメイトで腐女子の留美を好きになるが、留美は阿部が彼の親友千葉と交際していると思い込み、取り合わない。高校生の恋愛をコミカルに描く。堀禎一の一般映画デビュー作。脚本には『草叢』を手かけた尾上史高も参加。

東京のバスガール

(したがる母さん 若い肌の火照り)

2008年 (62分) ※35mm上映

監督: 堀禎一

脚本: 佐藤稔

出演: かなと沙奈 吉岡睦雄 下元史朗 飯島大介



夫が脳溢血で半年前に逝去して以来、若き未亡人の摩耶は同居人で義理の息子の周平に寂しさを癒してもらって日々を送っていた。そんな中、亡き夫の弟周造との縁談が持ち上がる。映画初出演のかなと沙奈がフレッシュな演技をみせる。

魔法少女を忘れない

2011年 (90分) ※デジタル上映

監督: 堀禎一

脚本: 中野太 ますもとたくや

出演: 高橋龍輝 谷内里早 森田涼花 碓井将大 前田亜希



高校生の悠也のもとへ、元魔法少女で血の繋がらない妹みらいがやってくる。みらいは次第に悠也の友達や学校に馴染んでいくが…。しなな泰也の同名ライトノベルの映画化。福岡でのロケーション撮影をへて、若者の青春が瑞々しく描き出される。

6月24日 (金)

14:30 『草叢』(64分)

16:10 『妄想少女オタク系』(113分)

18:30 『天竜区奥領家大沢 別所製茶工場』『天竜区奥領家大沢 夏』(計131分)

6月25日 (土)

12:00 『東京のバスガール』(62分)

13:30 『魔法少女を忘れない』(90分)

15:30 『天竜区旧水窪町 祇園の日、大沢釜下ノ滝』『天竜区奥領家大沢 冬』(計120分)

+トーク: 堀禎一 (映画監督)、赤坂太輔 (映画批評家)

料金

一般=1回券1200円 (3回券=3400円)

アテネ・フランセ文化センター会員/学生/シニア=1000円 (3回券2700円)

※アテネ・フランセ文化センター会員入会をご希望の方は登録が必要となります。

登録料: 一般=1500円 (有効期限は2017年3月末日まで)

「天竜区」シリーズの舞台、水窪 (みさくぼ)、大沢集落について

静岡県浜松市の最北部にある急峻な山の中腹、標高740mに位置する斜面集落、大沢集落。眼前に麻布山 (標高1685m) を望み、深い谷の底を流れる白倉川の清流を見下ろす美しい眺望を持つ。村が拓かれた当初の頃から、限られた土地を有効活用するため戸数を8軒に限るという集落独自の決まりがあるが、現在は過疎化がすすみ、常時集落到住しているのは3軒4人となっている。

天竜区奥領家大沢 別所製茶工場

2014年 (64分) ※デジタル上映

制作: 内山丈史

監督: 堀禎一

5月後半の、新緑の季節に行なわれる大沢の急勾配での茶摘み、そして製茶までの工場での加工の様子を静かにとらえる。



天竜区旧水窪町 祇園の日、大沢釜下ノ滝

2014年 (27分) ※デジタル上映

制作: 内山丈史

監督: 堀禎一

2014年6月に撮影。祇園祭の日に合わせ年に一度花火を楽しむ「ぎおん」という風習の記録。撮影は2014年6月だが、『別所製茶工場』より前に完成した。



天竜区奥領家大沢 夏

2014年 (67分) ※デジタル上映

制作: 内山丈史

監督: 堀禎一

話: 別所賞吉

大沢集落の短い夏をとらえた作品。「製茶工場」の持ち主である別所賞吉さんの大沢についての話や思い出などのナレーションを含めながら、夏の大沢での生活を写す。



天竜区奥領家大沢 冬

2015年 (94分) ※デジタル上映

制作: 内山丈史

監督: 堀禎一

機材協力: 葛生賢

話: 別所賞吉

村人の別所賞吉さんのナレーションとともに集落の歴史や冬の生活が描かれる。彼岸の頃、麻布山頂から日が昇り、長い冬が終わりを迎え、大沢集落到まもなく春が訪れる。



堀禎一

1969年兵庫県生まれ。東京大学文学部仏文科卒業。1994年に佐藤真監督が構成・編集を担当した『おてんとうさまがほしい』に関わったのをはじめ、1996年から小林悟・北沢幸雄・サトウトシキ監督の助監督を務めるなど下積み生活を送る。1998年から脚本の執筆も行うようになり、2003年に『宙ぶらりん』でデビュー。ピンク映画を三本制作したあと、2007年には『妄想少女オタク系』で一般映画のメガホンをとり、ピンク映画やアイドル映画などで高い評価を得る。最新作「天竜区」シリーズは、堀の手がける初のドキュメンタリー作品となった。

会場・お問い合わせ

アテネ・フランセ文化センター

JR 御茶ノ水・水道橋駅より徒歩7分

東京都千代田区神田駿河台2-11

アテネ・フランセ4F

TEL.03-3291-4339 (13:00-20:00)

<http://www.athenee.net/culturalcenter/>

